

2. 学会名 ; 第 26 回 山口県慢性期医療協会研究会 演題発表

【開催地】 萩至誠館大学

【日時】 2019年3月9日

【演題名】 誤嚥性肺炎の再発予防と ADL 拡大に取り組んだ一症例

発表者 : 楊井佑輝



【はじめに】

- 歩行を含むADLの自立度は、嚥下障害と密接に関係しており、歩行能力と誤嚥性肺炎の発症リスクは関連すると言われている。
- リハビリテーション以外においても離床機会を増やし、ADLが向上したことで肺炎の再発予防へ繋がった症例をここに報告する。



【画像所見】



当院は、肺炎に関連した患者様も多く、当学術発表では肺炎の再発リスク軽減の為、ADL 拡大と個別リハビリテーションの実践を通じた一症例を発表しました。また、今回の経験から自身の呼吸器に対する知識不足を感じたこともあり、3 学会合同呼吸療法認定士の資格を取得しました。リハビリセンターでは、勉強会にて知識を共有し、さらに呼吸器に関するリハビリテーションを実施できるよう邁進しています。

【特別講演】

『地域包括ケアと慢性期医療の役割』

産業医科大学医学部 公衆衛生学 教授 松田晋哉先生

【ランチョンセミナー】

『胃ろうから見える医療・介護の倫理的課題』

下関医療センター 院長 山下智省先生